

ふだん着の 社会貢献

第41回

障害者生かす雇用推進 海岸清掃で学ぶ「心」

(株)ユーコーリプロ

(株)ユーコーリプロ(金海龍海社長)は、埼玉県と福岡県北九州市の2所にリサイクルプラントを持つ、遊技機に特化したリサイクル会社です。設立は、1992年(平成4年)。

当時、マスコミで使用済み遊技機の不法投棄が盛んに取り上げられるようになってい

ました。世間から、しっかりとしたりサイクルシステム、そして適正に処理することができるとサイクル工場の必要性が求められていました。そんなときに、業界に先駆けて遊技機リサイクルの専門工場としてスタートしたのがユーコーリプロです。97年には、環境省から「広域再生利用指定産業廃棄物処理業者」の認可を受け、全国から使用済み遊技

機の回収をスタートさせました。09年には、「広域認定産業廃棄物処理者」の認定も受け、日工組遊技機回収システムの一翼も担っています。今でも、不法投棄された遊技機の処理、闇スロに使われたスロットの処理などを警察から依頼されることもあるそうです。これは、洗練された技術や適正処理に対する信頼性への表れだといえます。

ユーコーリプロの工場内作業においても、簡単な作業の一部を社会復帰センターへ委託し、障害者への雇用機会を提供や社会経験を積むサポート等を行っています。こうした取り組みは、02年からスタートし、今ではリユース部品の検品作業の一部を授産施設にお願いする等、その取り組みは広がっています。ある現場リーダーは、「社会復帰センターの方

がしてくれている作業に問題はありませぬ。大事なことは、個々人の才能を活かせるよう、一人ひとりを見ていき、仕事を任せていく、任せることができるよう工夫していくことだと思っています。そういった機会を見つけていくのが企業の使命なのかな、と最近思います」と語っています。会社の事業自体が、遊技機リサイクルという社会貢献の色が濃いものですから、社員の社会貢献への意欲も並ではありません。

自ら活動する人材育てる

そんなユーコーリプロの社員が、ま熱心に取り組んでいるのが、北九州市で毎年実施されている「まち美化キャンペーン」の1つである、岩屋海岸の清掃活動です。およそ2000人が参加する大規模な清掃活動で、ユーコーリプロが初めて参加したのは09年からです。昨年参加した社員は、1人は、「初めて参加したときはその参加者の多さに驚き



ました。多くの企業、個人が社会貢献の重要性を認識していることを実感しました」と、世間の社会貢献に対する認識に感動した体験を語りま

す。他にも、「ふだん海に遊びに行くときはそんなに気にしたことがなかったけど、海岸つけてけっこうゴミがあるんですね。今の子供たちは自然と触れ合う機会が少ない。子供たちが安心して自然と触れ合える場所がもっと増えたらいいなと、海岸清掃を通して感じました」と、活動の意味を実感として述べています。会社として取り組む社会貢献活動を通して、社会貢献を身近なものとして社員に伝えているユーコーリプロでは、今後も、社員一人ひとりの取り組みを大事にしながら、社会貢献活動を通して自発的に行動できる人材を育てています。

海岸の清掃に汗を流すユーコーリプロの社員たち

